週刊　仏教タイムス

２０２４．９．５

宗教者ネット

「石丸現象」を分析

平和をつくり出す宗教者ネットは8月22日、東京都千代田区の参議院議員会館で集会を開いた（写真）。年内にも解散総選挙があるとの見方がある中、野党共同や都知事選での石丸現象について「戦争させない・9条壊すな総がかり行動実行委員会」の菱山南帆子共同代表が講演し、都知事選を総括した。

都知事選では、当初3番手と見られていた石丸伸二氏が蓮舫氏を抜いて次点に躍り出る石丸現象が起こった。野党共同で蓮舫氏を応援する中、石丸氏の躍進を知った菱山氏は「みんなこんなに頑張っているのになぜ？という思い。信じられなかった」と話した。

蓮舫氏の選挙戦は、男性候補者には使われない言葉で差別的なバッシングを受けたとし、女性の支援者ばかりが唾を吐かれる等の被害に遭い、「今回の選挙ほど身の危険を感じることはなかった」と差別との闘いでもあったと振り返った。

石丸氏については「突然出てきたのではなくネットで十分準備していた」と分析。拡散力のある「X」や「TikTok」等のSNSを利用し、ネットを中心に若者世代に向け、何かを変えてくれそうだという「やってる感をとても上手に演出した。維新と似ている」と指摘した。

野党共同では、「私たちがまとまろうとする時、必ず割る存在が出てくる。それにより（有権者の）怒りを掠め取ろうとする」と俯瞰した見方を提示。

総選挙に向けては「今の時代を生きる若者たちは共通して不安を持っているが、真っ当に考える時間がない。我々が信頼できる大人になることがキーポイント。フワッとした石丸的なものに対抗できるのは、信頼できる言葉と具体的なマニフェストだと思う」と提案した。

当日は、午前中に内閣府に「戦争をする国」となることに反対する要望書や総計12万8250筆の署名を提出した。